

注3

大学番号：私155

認可

[平成30年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

新潟食料農業大学

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人新潟総合学園
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 カチョウ タネハタ ケンジ
課長 種畑 賢二

電話番号 0254-28-9855

（夜間） 090-8957-3982

F A X 0254-28-9856

e-mail ml_soumu@nafu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

食料産業学部

＜食料産業学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	33

※別添資料（新潟食料農業大学FD・SD委員会規定）

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人新潟総合学園

(2) 大学名

新潟食料農業大学

(3) 調査対象大学等の位置

【新潟キャンパス】

〒950-3197

新潟県新潟市北区島見町940番地

【胎内キャンパス】

〒959-2702

新潟県胎内市平根台2416番地

- 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イケダ ヒロム) 池田 弘 (平成12年12月)		
学長	(ワタナベ ヨシアキ) 渡辺 好明 (平成30年4月)		
学部長	(ナカイ ユタカ) 中井 裕 (平成30年4月)		
学科長等	(ナカイ ユタカ) 中井 裕 (平成30年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- 大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
食料産業学部 食料産業学科 学士(食料産業学)	農学関係	4年	180人	— 年次 人	720人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	180人 (-) [-]	人	180人 (-) [10]	人	180人 (-) [10]	人	人	人	人	人	0.74倍	—	
志願者数	162 (-) [21]	— (-) [-]	334 (1) [49]	— (-) [-]	374 (8) [66]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]			
受験者数	152 (-) [20]	— (-) [-]	314 (1) [47]	— (-) [-]	348 (8) [58]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]			
合格者数	149 (-) [20]	— (-) [-]	307 (1) [47]	— (-) [-]	334 (8) [47]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]			
B 入学者数	99 (-) [17]	— (-) [-]	149 (1) [37]	— (-) [-]	156 (7) [36]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]	— (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	0.55		0.82		0.86		—		—				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	99 [17] (-)	- [-] (-)	149 [37] (-)	- [-] (-)	156 [36] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	令和2年度 3年次編入で7名入学 (日本人学生6名、留学生1名) 3年次96名(うち3年次編入7名)
2年次	/		95 [14] (-)	- [-] (-)	140 [30] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		96 [12] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	99 [17] (-)	- [-] (-)	244 [51] (-)	- [-] (-)	392 [78] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	99 人	5 人	平成30年度	5 人	3 人	就職(1人)、他の教育機関への入学(1人)、[就職(1人)、 家庭の事情(1人)、就学意欲の低下(1人)]
令和元年度	244 人	15 人	平成30年度	5 人	3 人	他の教育機関への入学(1人)、学生個人の心身に関する事情(1名)[他 の教育機関への入学(1人)、家庭の事情(1人)、その他(1人)]
			令和元年度	10 人	7 人	他の教育機関への入学(2人)、除籍(1人)[他の教育機関への入 学(2人)、家庭の事情(1人)、除籍(3人)、その他(1人)]
令和2年度	392 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合 計		20 人		20 人	13 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{99} = \boxed{5.05} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{15}{244} = \boxed{6.14} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{392} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<食料産業学部 食料産業学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	総合英語Ⅰ	1前	2					1			1
	総合英語Ⅱ	1後	2					1			1
	総合英語Ⅲ	2前	2			1		1			1
	総合英語Ⅳ	2後	2			1		1			1
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	3前	2			1		1			1
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	4前	2			1		1			1
	海外研修	2後		2		1		1			
	からだと健康	1前・後	2					1			
	スポーツ実践	1前・後	1					1			
	コンピュータリテラシーⅠ	1前	2					1			
	コンピュータリテラシーⅡ	1後	2					1			
	新潟と地域社会	1前	2								1
	農業・農村の暮らし	1後	2					1			
	食文化概論	1前	2								1
	法学	1前		2							1
	マクロ経済学	1前		2							1
	日本語表現法	1前		2							1
	コミュニケーション論	1後		2							1
	芸術	1後		2							1
	心理学概論	1後		2							1
数学の基礎	1前		1				1				
生物学の基礎	1前		1					1			
化学の基礎	1前		1						1		
物理学の基礎	1後		1							1	
基礎科目群	食料産業概論	1前	2			7	1	1			
	農学基礎実習	1前	2			7	1	2	1		
	植物生理・生態学概論	1後	2			1					
	微生物学概論	1後	2			1					
	生物資源循環論	2前	2			3					
	動物生産学概論	2後	2			2					
	経営学基礎	1後	2								1
	簿記・会計学	1後	2			1					
	食料・農業・農村政策	2前	2			1					
	経営学	2前	2								1
食品学概論	1後	2			3					1	
共通科目群	基礎ゼミⅠ	1前	1			6	2	5			
	基礎ゼミⅡ	2前	1			11		2			
	環境科学概論	1前	2			4					1
	栽培学概論	1前	2			1					
	ICT農業概論	2前	2								2
	フードサービス論	1後	2			1					
	農村ビジネス論	2前	2			1					
	食品流通論	2前	2			1					
	おいしさの科学	1後	2			1					
	食品開発・製造論	1後	2			1	1	2			
	技術開発と工業所有権	2後	2								1
	起業イノベーション論	2前	1			1					
	ビジネスプランニングⅠ	2前	1				1				
	ビジネスプランニングⅡ	2後	1				1				
	キャリアプランニングⅠ	2前	1			1					
	キャリアプランニングⅡ	2後	1			1					
	食料産業実践論Ⅰ	4前	2			1					
	食料産業実践論Ⅱ	4後	2			4	1				
	インターンシップⅠ	1後		1		1					
	インターンシップⅡ	3前		1		1					

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	総合英語Ⅰ	1前	2					1			1
	総合英語Ⅱ	1後	2					1			1
	総合英語Ⅲ	2前	2					0		1	2
	総合英語Ⅳ	2後	2					0		1	1
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	3前	2					0		1	2
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	4前	2					1		1	1
	海外研修	2後		2				0		1	
	からだと健康	1前・後	2							1	
	スポーツ実践	1前・後	1							1	
	コンピュータリテラシーⅠ	1前	2							1	1
	コンピュータリテラシーⅡ	1後	2							1	
	新潟と地域社会	1前	2								1
	農業・農村の暮らし	1後	2						1		
	食文化概論	1前	2								1
	法学	1前		2							1
	マクロ経済学	1前		2							1
	日本語表現法	1前		2							1
	コミュニケーション論	1後		2							1
	芸術	1後		2							3
	心理学概論	1後		2							1
数学の基礎	1前		1					2			
生物学の基礎	1前		1					1	0		
化学の基礎	1前		1						2	1	
物理学の基礎	1後		1					1		0	
基礎科目群	食料産業概論	1前	2			7	1	1			
	農学基礎実習	1前	2			5	1	3	0		
	植物生理・生態学概論	1後	2			1					
	微生物学概論	1後	2			1					
	生物資源循環論	2前	2			3					
	動物生産学概論	2後	2			2					
	経営学基礎	1後	2								1
	簿記・会計学	1後	2			1					
	食料・農業・農村政策	2前	2			1					
	経営学	2前	2								1
食品学概論	1後	2			3					1	
共通科目群	基礎ゼミⅠ	1前	1			5	2	5	1		
	基礎ゼミⅡ	2前	1			5	1	4	1		
	環境科学概論	1前	2			4					1
	栽培学概論	1前	2			1					
	ICT農業概論	2前	2								2
	フードサービス論	1後	2			1					
	農村ビジネス論	2前	2			1					
	食品流通論	2前	2			1					
	おいしさの科学	1後	2			1					
	食品開発・製造論	1後	2			1	1	2			
	技術開発と工業所有権	2後	2								1
	起業イノベーション論	2前	1			1					
	ビジネスプランニングⅠ	2前	1				1				
	ビジネスプランニングⅡ	2後	1				1				
キャリアプランニングⅠ	2前	1			1						
キャリアプランニングⅡ	2後	1			1						
食料産業実践論Ⅰ	4前	2			1						
食料産業実践論Ⅱ	4後	2			4	1					
インターンシップⅠ	1後		1		1						
インターンシップⅡ(未開講)	3前		1		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目群	肥料学	2前		2		1						
	農業学概論	2後		2		1						
	植物遺伝学	2後		2							1	
	植物病理学	2後		2		1						
	作物生産科学基礎実験・実習	2前		1		4			1			
	食料経済学	2後		2		1						
	統計学	2前		2							1	
	簿記・会計学演習	2前		2		1						
	マーケティング論	2後		2		1						
	食品栄養学	2前		2								1
	食品化学	2前		2		1						
	食品微生物学	2前		2		1						
	食品安全学	2後		2		1						
	食品製造学	2後		2			1					
	食品物性学	2後		2				1				
科学Ⅰ	2前		2		2	1						
科学Ⅱ	2後		2		3							
食品生産科学基礎実験・実習	2後		1		2	1	1	1				
専門科目群	野菜園芸学	3前		2		1						
	果樹・鑑賞園芸学	3前		2		1						
	有機栽培論	3前		2		1						
	土壌学	3後		2		1						
	昆虫学	3後		2							1	
	農業気象学	3後		2							1	
	植物生理学	3前		2		1						
	植物育種学	3前		2								1
	環境微生物学	3後		2		1		1				
	栽培科学実験・実習	3前		4		4		1	1			
	植物分子科学実験・実習	3後		4		2		1				1
	卒業研究Ⅰ(アグリコース)	3後		2		6		2				
	卒業研究Ⅱ(アグリコース)	4前		4		6		2				
	卒業研究Ⅲ(アグリコース)	4後		4		6		2				
	現代経済論	3前		2								1
	農業ビジネス論	3前		2				1				
	地域政策論	3後		2		2		1				
	地域計画論	3後		2		1						
	食品企業論	3後		2				1				
	ミクロ経済学	3前		2								1
	コーポレート・ファイナンス	3前		2		1						
	市場調査論	3前		2		1						
	eビジネス論	3後		2				1				
	商品企画・開発論	3後		2		1						
	食産業ビジネス演習Ⅰ	3前		4		3		1				
	食産業ビジネス演習Ⅱ	3後		4		3		1	1			
	卒業研究Ⅰ(ビジネスコース)	3後		2		6		1	2			
	卒業研究Ⅱ(ビジネスコース)	4前		4		6		1	2			
	卒業研究Ⅲ(ビジネスコース)	4後		4		6		1	2			
	食嗜好科学	3前		2		2						
	食品分析学	3前		2		1						
	微生物利用学	3後		2		1						
	健康栄養学	3後		2								1
保蔵学	3前		2				1					
食品安全管理システム論	3前		2		1							
環境技術学	3後		2				1					
農産物利用学	3前		2			1						
畜・水産物利用学	3後		2		1						1	
食品科学実験・実習	3前		4		4			1				
食品プロセス学実験・実習	3後		4		2		1	2	1			
卒業研究Ⅰ(フードコース)	3後		2		6		1	2				
卒業研究Ⅱ(フードコース)	4前		4		6		1	2				
卒業研究Ⅲ(フードコース)	4後		4		6		1	2				
合計(116科目)		-	76	164	0	20	2	8	2	0	24	
卒業要件及び履修方法												
<p>教養科目群・基礎科目群・共通科目群から80単位以上、専門基礎科目群・専門科目群から48単位以上を修得し、合計128単位以上を修得すること。</p> <p>〔アグリコース〕 教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上 専門基礎科目群・専門科目群から必修45単位を含め48単位以上</p> <p>〔ビジネスコース〕 教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上 専門基礎科目群・専門科目群から必修46単位を含め48単位以上</p> <p>〔フードコース〕 教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上 専門基礎科目群・専門科目群から必修45単位を含め48単位以上</p> <p><履修科目の登録上限> 1年次・2年次 48単位(年間) 3年次・4年次 45単位(年間)</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目群	肥料学	2前		2		1						
	農業学概論	2後		2		1						1
	植物遺伝学	2後		2								1
	植物病理学	2後		2		1						
	作物生産科学基礎実験・実習	2前		1		4			1	0		
	食料経済学	2後		2		1						
	統計学	2前		2								1
	簿記・会計学演習	2前		2		1						
	マーケティング論	2後		2		1						
	食品栄養学	2前		2								1
	食品化学	2前		2		1						
	食品微生物学	2前		2		1						
	食品安全学	2後		2		1						
	食品製造学	2後		2			1					
	食品物性学	2後		2				1				
科学Ⅰ	2前		2		2	1						
科学Ⅱ	2後		2		2							
食品生産科学基礎実験・実習	2後		1		2	1	1	1				
専門科目群	野菜園芸学	3前		2		1						
	果樹・鑑賞園芸学	3前		2		1						
	有機栽培論	3前		2		1			1			
	土壌学	3後		2		1						
	昆虫学	3後		2								1
	農業気象学	3後		2								1
	植物生理学	3前		2		1						
	植物育種学	3前		2								1
	環境微生物学	3後		2		1		1				
	栽培科学実験・実習	3前		4		4		1	1	0		
	植物分子科学実験・実習	3後		4		2		1				0
	卒業研究Ⅰ(アグリコース)	3後		2		6		2		3		
	卒業研究Ⅱ(アグリコース)	4前		4		6		2		3		
	卒業研究Ⅲ(アグリコース)	4後		4		6		2		3		
	現代経済論	3前		2								1
	農業ビジネス論	3前		2				1				
	地域政策論	3後		2		2		1				
	地域計画論	3後		2		1						
	食品企業論	3後		2				1				
	ミクロ経済学	3前		2								1
	コーポレート・ファイナンス	3前		2		1						
	市場調査論	3前		2		1						
	eビジネス論	3後		2				1				
	商品企画・開発論	3後		2		1						
	食産業ビジネス演習Ⅰ	3前		4		3		1				
	食産業ビジネス演習Ⅱ	3後		4		3		1	1			
	卒業研究Ⅰ(ビジネスコース)	3後		2		6		1	2			
	卒業研究Ⅱ(ビジネスコース)	4前		4		6		1	2			
	卒業研究Ⅲ(ビジネスコース)	4後		4		6		1	2			
	食嗜好科学	3前		2		2				1		
	食品分析学	3前		2		1						
	微生物利用学	3後		2		1						
	健康栄養学	3後		2								1
保蔵学	3前		2				1					
食品安全管理システム論	3前		2		1							
環境技術学	3後		2				1					
農産物利用学	3前		2			1						
畜・水産物利用学	3後		2		1						1	
食品科学実験・実習	3前		4		4			3			1	
食品プロセス学実験・実習	3後		4		2		1	2	1			
卒業研究Ⅰ(フードコース)	3後		2		6		1	2				
卒業研究Ⅱ(フードコース)	4前		4		6		1	2				
卒業研究Ⅲ(フードコース)	4後		4		6		1	2				
合計(116科目)		-	76	164	0	17	2	10	2	0	27	
卒業要件及び履修方法												
<p>教養科目群・基礎科目群・共通科目群から80単位以上、専門基礎科目群・専門科目群から48単位以上を修得し、合計128単位以上を修得すること。</p> <p>〔アグリコース〕 教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上 専門基礎科目群・専門科目群から必修45単位を含め48単位以上</p> <p>〔ビジネスコース〕 教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上 専門基礎科目群・専門科目群から必修46単位を含め48単位以上</p> <p>〔フードコース〕 教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上 専門基礎科目群・専門科目群から必修45単位を含め48単位以上</p> <p><履修科目の登録上限> 1年次・2年次 48単位(年間) 3年次・4年次 45単位(年間)</p>												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	総合英語Ⅰ	1前	2					1			1
	総合英語Ⅱ	1後	2					1			1
	総合英語Ⅲ	2前	2			1		1			0
	総合英語Ⅳ	2後	2			1		1			0
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	3前	2			1		1			1
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	4前	2			1		1			1
	海外研修	2後		2		1		1			
	からだと健康	1前・後	2					1			
	スポーツ実践	1前・後	1					1			
	コンピュータリテラシーⅠ	1前	2					1			1
	コンピュータリテラシーⅡ	1後	2					1			
	新潟と地域社会	1前	2								1
	農業・農村の暮らし	1後	2					1			
	食文化概論	1前	2								1
	法学	1前		2							1
	マクロ経済学	1前		2							1
	日本語表現法	1前		2							1
	コミュニケーション論	1後		2							1
	芸術	1後		2							1
	心理学概論	1後		2							1
数学の基礎	1前		1				2				
生物学の基礎	1前		1		1		1	1			
化学の基礎	1前		1		2	1	1	1		1	
物理学の基礎	1後		1							1	
基礎科目群	食料産業概論	1前	2			7	1	1			
	農学基礎実習	1前	2			5	1	3	1		
	植物生理・生態学概論	1後	2			1					
	微生物学概論	1後	2			1					
	生物資源循環論	2前	2			3					
	動物生産学概論	2後	2			2					
	経営学基礎	1後	2								1
	簿記・会計学	1後	2			1					
	食料・農業・農村政策	2前	2			1					
	経営学	2前	2								1
食品学概論	1後	2			2					2	
共通科目群	基礎ゼミⅠ	1前	1			3	1	6	2		
	基礎ゼミⅡ	2前	1			7	1	2			
	環境科学概論	1前	2			4					1
	栽培学概論	1前	2			1					
	ICT農業概論	2前	2								2
	フードサービス論	1後	2			1					
	農村ビジネス論	2前	2			1					
	食品流通論	2前	2			1					
	おいしさの科学	1後	2								1
	食品開発・製造論	1後	2			1	1	2			
	技術開発と工業所有権	2後	2								1
	起業イノベーション論	2前	1			1					
	ビジネスプランニングⅠ	2前	1				1				
	ビジネスプランニングⅡ	2後	1				1				
	キャリアプランニングⅠ	2前	1			1					
	キャリアプランニングⅡ	2後	1			1					
	食料産業実践論Ⅰ	4前	2			1					
	食料産業実践論Ⅱ	4後	2			4	1				
インターンシップⅠ	1後		1		1						
インターンシップⅡ	3前		1		1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目群	総合英語Ⅰ	1前	2					1			1
	総合英語Ⅱ	1後	2					1			1
	総合英語Ⅲ	2前	2			1		1			1
	総合英語Ⅳ	2後	2			1		1			1
	英語プレゼンテーション演習Ⅰ	3前	2			1		1			1
	英語プレゼンテーション演習Ⅱ	4前	2			1		1			1
	海外研修	2後		2		1		1			
	からだと健康	1前・後	2					1			
	スポーツ実践	1前・後	1					1			
	コンピュータリテラシーⅠ	1前	2					1			
	コンピュータリテラシーⅡ	1後	2					1			
	新潟と地域社会	1前	2								1
	農業・農村の暮らし	1後	2					1			
	食文化概論	1前	2								1
	法学	1前		2							1
	マクロ経済学	1前		2							1
	日本語表現法	1前		2							1
	コミュニケーション論	1後		2							1
	芸術	1後		2							1
	心理学概論	1後		2							1
数学の基礎	1前		1					1			
生物学の基礎	1前		1						1		
化学の基礎	1前		1						1		
物理学の基礎	1後		1							1	
基礎科目群	食料産業概論	1前	2			7	1	1			
	農学基礎実習	1前	2			5	1	3	1		
	植物生理・生態学概論	1後	2			1					
	微生物学概論	1後	2			1					
	生物資源循環論	2前	2			3					
	動物生産学概論	2後	2			2					
	経営学基礎	1後	2								1
	簿記・会計学	1後	2			1					
	食料・農業・農村政策	2前	2			1					
	経営学	2前	2								1
食品学概論	1後	2			2					2	
共通科目群	基礎ゼミⅠ	1前	1			3	1	6	2		
	基礎ゼミⅡ	2前	1			7	1	2			
	環境科学概論	1前	2			4					1
	栽培学概論	1前	2			1					
	ICT農業概論	2前	2								2
	フードサービス論	1後	2			1					
	農村ビジネス論	2前	2			1					
	食品流通論	2前	2			1					
	おいしさの科学	1後	2								1
	食品開発・製造論	1後	2			1	1	2			
	技術開発と工業所有権	2後	2								1
	起業イノベーション論	2前	1			1					
	ビジネスプランニングⅠ	2前	1				1				
	ビジネスプランニングⅡ	2後	1				1				
	キャリアプランニングⅠ	2前	1			1					
	キャリアプランニングⅡ	2後	1			1					
	食料産業実践論Ⅰ	4前	2			1					
	食料産業実践論Ⅱ	4後	2			4	1				
インターンシップⅠ	1後		1		1						
インターンシップⅡ	3前		1		1						

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教 授	准 授 助 手	講 師	助 手	助 手		
専門 基礎 科目 群	肥料学	2前		2		1						
	農業学概論	2後		2								1
	植物遺伝学	2後		2								1
	植物病理学	2後		2		1						
	作物生産科学基礎実験・実習	2前		1		3		1	1			
	食料経済学	2後		2		1						
	統計学	2前		2								1
	簿記・会計学演習	2前		2		1						
	マーケティング論	2後		2		1						
	食品栄養学	2前		2								1
	食品化学	2前		2		1						
	食品微生物学	2前		2		1						
	食品安全学	2後		2		1						
	食品製造学	2後		2			1					
	食品物性学	2後		2				1				
科学Ⅰ	2前		2		2	1						
科学Ⅱ	2後		2		2							
食品生産科学基礎実験・実習	2後		1		2	1	1	1				
専門 科目 群	野菜園芸学	3前		2		1						
	果樹・鑑賞園芸学	3前		2		1						
	有機栽培論	3前		2				1				
	土壌学	3後		2		1						
	昆虫学	3後		2								1
	農業気象学	3後		2								1
	植物生理学	3前		2		1						
	植物育種学	3前		2								1
	環境微生物学	3後		2		1		1				
	栽培科学実験・実習	3前		4		3		2	1			
	植物分子科学実験・実習	3後		4		2		1				1
	卒業研究Ⅰ(アグリコース)	3後		2		5		3				
	卒業研究Ⅱ(アグリコース)	4前		4		5		3				
	卒業研究Ⅲ(アグリコース)	4後		4		5		3				
	現代経済論	3前		2								1
	農業ビジネス論	3前		2				1				
	地域政策論	3後		2		2		1				
	地域計画論	3後		2		1						
	食品企業論	3後		2				1				
	マイクロ経済学	3前		2								1
	コーポレート・ファイナンス	3前		2		1						
	市場調査論	3前		2		1						
	eビジネス論	3後		2				1				
	商品企画・開発論	3後		2		1						
	食産業ビジネス演習Ⅰ	3前		4		3		1				
	食産業ビジネス演習Ⅱ	3後		4		3	1	1				
	卒業研究Ⅰ(ビジネスコース)	3後		2		6	1	2				
	卒業研究Ⅱ(ビジネスコース)	4前		4		6	1	2				
	卒業研究Ⅲ(ビジネスコース)	4後		4		6	1	2				
	食嗜好科学	3前		2		1						
	食品分析学	3前		2		1						
	微生物利用学	3後		2		1						
	健康栄養学	3後		2								1
	保蔵学	3前		2				1				
	食品安全管理システム論	3前		2		1						
環境技術学	3後		2				1					
農産物利用学	3前		2			1						
畜・水産物利用学	3後		2		1						1	
食品科学実験・実習	3前		4		3			1				
食品プロセス学実験・実習	3後		4		2	1	2	1				
卒業研究Ⅰ(フードコース)	3後		2		5	1	2					
卒業研究Ⅱ(フードコース)	4前		4		5	1	2					
卒業研究Ⅲ(フードコース)	4後		4		5	1	2					
合計(116科目)		-	76	164	0	18	2	9	2	0	29	
卒業要件及び履修方法												
教養科目群・基礎科目群・共通科目群から80単位以上、 専門基礎科目群・専門科目群から48単位以上を修得し、 合計128単位以上を修得すること。 [アグリコース] 教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上 専門基礎科目群・専門科目群から必修45単位を含め48単位以上 [ビジネスコース] 教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上 専門基礎科目群・専門科目群から必修46単位を含め48単位以上 [フードコース] 教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上 専門基礎科目群・専門科目群から必修45単位を含め48単位以上 <履修科目の登録上限> 1年次・2年次 48単位(年間) 3年次・4年次 45単位(年間)												

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必修	選択	自由	教 授	准 授 助 手	講 師	助 手	助 手		
専門 基礎 科目 群	肥料学	2前		2		1						
	農業学概論	2後		2								1
	植物遺伝学	2後		2								1
	植物病理学	2後		2		1						
	作物生産科学基礎実験・実習	2前		1		3		1	1			
	食料経済学	2後		2		1						
	統計学	2前		2								1
	簿記・会計学演習	2前		2		1						
	マーケティング論	2後		2		1						
	食品栄養学	2前		2								1
	食品化学	2前		2		1						
	食品微生物学	2前		2		1						
	食品安全学	2後		2		1						
	食品製造学	2後		2			1					
	食品物性学	2後		2				1				
科学Ⅰ	2前		2		2	1						
科学Ⅱ	2後		2		2		3					
食品生産科学基礎実験・実習	2後		1		2	1	1	1				
専門 科目 群	野菜園芸学	3前		2		1						
	果樹・鑑賞園芸学	3前		2		1						
	有機栽培論	3前		2				1				
	土壌学	3後		2		1						
	昆虫学	3後		2								1
	農業気象学	3後		2								1
	植物生理学	3前		2		1						
	植物育種学	3前		2								1
	環境微生物学	3後		2		1		1				
	栽培科学実験・実習	3前		4		3		2	1			
	植物分子科学実験・実習	3後		4		2		1				1
	卒業研究Ⅰ(アグリコース)	3後		2		5		3				
	卒業研究Ⅱ(アグリコース)	4前		4		5		3				
	卒業研究Ⅲ(アグリコース)	4後		4		5		3				
	現代経済論	3前		2								1
	農業ビジネス論	3前		2				1				
	地域政策論	3後		2		2		1				
	地域計画論	3後		2		1						
	食品企業論	3後		2				1				
	マイクロ経済学	3前		2								1
	コーポレート・ファイナンス	3前		2		1						
	市場調査論	3前		2		1						
	eビジネス論	3後		2				1				
	商品企画・開発論	3後		2		1						
	食産業ビジネス演習Ⅰ	3前		4		3		1				
	食産業ビジネス演習Ⅱ	3後		4		3	1	1				
	卒業研究Ⅰ(ビジネスコース)	3後		2		6	1	2				
	卒業研究Ⅱ(ビジネスコース)	4前		4		6	1	2				
	卒業研究Ⅲ(ビジネスコース)	4後		4		6	1	2				
	食嗜好科学	3前		2		2						
	食品分析学	3前		2		1						
	微生物利用学	3後		2		1						
	健康栄養学	3後		2								1
	保蔵学	3前		2				1				
	食品安全管理システム論	3前		2		1						
環境技術学	3後		2				1					
農産物利用学	3前		2			1						
畜・水産物利用学	3後		2		1						1	
食品科学実験・実習	3前		4		4			1				
食品プロセス学実験・実習	3後		4		2	1	2	1				
卒業研究Ⅰ(フードコース)	3後		2		6	1	2					
卒業研究Ⅱ(フードコース)	4前		4		6	1	2					
卒業研究Ⅲ(フードコース)	4後		4		6	1	2					
合計(116科目)		-	76	164	0	18	2	9	2	0	32	
卒業要件及び履修方法												
教養科目群・基礎科目群・共通科目群から80単位以上、 専門基礎科目群・専門科目群から48単位以上を修得し、 合計128単位以上を修得すること。 [アグリコース] 教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上 専門基礎科目群・専門科目群から必修45単位を含め48単位以上 [ビジネスコース] 教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上 専門基礎科目群・専門科目群から必修46単位を含め48単位以上 [フードコース] 教養科目群・基礎科目群・共通科目群から必修76単位を含め80単位以上 専門基礎科目群・専門科目群から必修45単位を含め48単位以上 <履修科目の登録上限> 1年次・2年次 48単位(年間) 3年次・4年次 45単位(年間)												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
42 科目	74 科目	0 科目	116 科目	42 科目 0	74 科目 0	0 科目 0	116 科目 0	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	インターンシップⅡ	1	3年次	一般	選択	新型コロナウイルス感染症の拡大により、実地実習の実施が困難であるため。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
該当なし						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

今般の新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みると、学生の安全と健康の観点から、「インターンシップⅡ」の未開講はやむを得ないものとする。

なお、当該科目は選択科目であり、本学で目指す資格の取得要件や卒業要件に影響はないが、令和2年度の学期開始時に合わせ、電子掲示板を用いて速やかに学生へ周知する。

また学生へのフォローとして、本学キャリアセンターで実施するセミナー等に参加を促し、キャリア形成を補う学びや体験を重ねることができるよう周知・指導を行う。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{116} = \boxed{0.86} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	実測面積であった数値を登記面積にあわせて修正したため(30)			
	校舎敷地	27,334.00㎡ 27,393.84㎡	0.00㎡	0.00㎡	27,334.00㎡ 27,393.84㎡				
	運動場用地	6,000.00㎡	0.00㎡	0.00㎡	6,000.00㎡				
	小 計	33,334.00㎡ 33,393.84㎡	0.00㎡	0.00㎡	33,334.00㎡ 33,393.84㎡				
	そ の 他	118,983.00㎡ 119,121.20㎡	0.00㎡	0.00㎡	118,983.00㎡ 119,121.20㎡				
	合 計	152,317.00㎡ 152,515.04㎡	0.00㎡	0.00㎡	152,317.00㎡ 152,515.04㎡				
(2) 校 舎	専 用	10,892.58㎡ 11,084.00㎡ (10,892.58㎡) (11,084.00㎡)	共 用	共用する他の学校等の専用	計	設計図上の面積であった数値を登記面積にあわせて修正したため(30)			
			0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	10,892.58㎡ 11,084.00㎡ (10,892.58㎡) (11,084.00㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	11室	25室	11室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	食料産業学部 食料産業学科			34 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	授業内容に即し、図書雑誌を再選定(30) 授業内容に即し、図書雑誌電子ジャーナルを再選定(元) 授業内容に即し、図書を再選定(2) 授業内容に即し、実験器具等を再選定(30)	
	食料産業学部	11,283 [424] 11,242 [390] (11,957 [525]) (11,567 [486]) (11,283 [424]) (11,242 [390])	93 [11] (129 [11]) (72 [11]) (93 [11])	8 [7] (8 [8]) (7 [7]) (-8 [7])	100 (100)	2,538 2,451 (2,538) (2,451)	0 0		
	計	11,283 [424] 11,242 [390] (11,957 [525]) (11,567 [486]) (11,283 [424]) (11,242 [390])	93 [11] (129 [11]) (72 [11]) (93 [11])	8 [7] (8 [8]) (7 [7]) (-8 [7])	100 (100)	2,538 2,451 (2,538) (2,451)	0 0		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		設計図上の面積であった数値を登記面積にあわせて修正したため(30) 大学全体			
		504.45㎡ 503.00㎡	88席		46,046冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
		1,676.12㎡	-						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	授業内容に即し、図書雑誌を再選定(30)
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	73,633千円 74,117千円	500千円	3,000千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	1,325,307千円 1,317,227千円	0千円	20,000千円	授業内容に即し、実験器具等を再選定(30)	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	器具等を再選定(30)	
		1,500千円	1,350千円	1,350千円	1,350千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、手数料収入							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	新潟医療福祉大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
リハビリテーション学部	4	250	—	1000	—	1.08	1.10	—	平成30年度	—	
理学療法学科	4	120	—	480	学士 (理学療法)	1.12	1.12	—	平成30年度	新潟県新潟市北区 島見町1398番地	
作業療法学科	4	50	—	200	学士 (作業療法)	0.99	1.00	—	平成30年度	同上	
言語聴覚学科	4	40	—	160	学士 (言語聴覚)	1.08	1.12	—	平成30年度	同上	
義肢装具自立支援学科	4	40	—	160	学士 (義肢装具自立支援)	1.04	1.12	—	平成30年度	同上	
医療技術学部	4	295	—	1180	—	1.01	1.00	—	平成13年度	—	
理学療法学科	4	—	—	—	学士 (理学療法)	—	—	—	平成13年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
作業療法学科	4	—	—	—	学士 (作業療法)	—	—	—	平成13年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
言語聴覚学科	4	—	—	—	学士 (言語聴覚)	—	—	—	平成13年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
義肢装具自立支援学科	4	—	—	—	学士 (義肢装具自立支援)	—	—	—	平成19年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
臨床技術学科	4	100	—	400	学士 (臨床技術)	1.04	1.00	—	平成23年度	同上	平成30年度より 定員変更(20)
視機能科学科	4	50	—	200	学士 (視機能科学)	1.01	1.04	—	平成26年度	同上	
救急救命学科	4	55	—	220	学士 (救急救命)	1.00	1.00	—	平成29年度	同上	
診療放射線学科	4	90	—	360	学士 (診療放射線)	1.00	1.00	—	平成30年度	同上	
健康科学部	4	240	3年次 5	970	—	1.08	1.09	—	平成19年度	—	
健康栄養学科	4	40	—	160	学士 (健康栄養)	1.09	1.07	—	平成19年度	同上	
健康スポーツ学科	4	200	3年次 5	810	学士 (健康スポーツ)	1.08	1.09	—	平成19年度	同上	
看護学科	4	—	—	—	学士 (看護)	—	—	—	平成19年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
看護学部	4	107	3年次 3	434	—	1.00	1.00	—	平成30年度	—	
看護学科	4	107	3年次 3	434	学士 (看護)	1.00	1.00	—	平成30年度	同上	
社会福祉学部	4	120	3年次 5	490	—	1.09	1.04	—	平成13年度	—	
社会福祉学科	4	120	3年次 5	490	学士 (社会福祉)	1.09	1.04	—	平成13年度	同上	
医療経営管理学部	4	80	3年次 5	330	—	1.09	1.07	—	平成22年度	—	
医療情報管理学科	4	80	3年次 5	330	学士 (医療情報)	1.09	1.07	—	平成22年度	同上	
大学 全体	4	1,092	18	4,404	—	1.06	1.05	—	—	—	
医療福祉学研究科	2 3	40 10	—	80 30	—	1.12 1.20	1.02 1.20	—	平成17年度	—	
保健学専攻(M)	2	21	—	42	修士 (保健学)	1.11	1.04	—	平成17年度	新潟県新潟市北区 島見町1398番地	
社会福祉学専攻(M)	2	5	—	10	修士 (社会福祉)	0.70	0.40	—	平成17年度	同上	
健康科学専攻(M)	2	10	—	20	修士 (健康科学)	1.35	1.20	—	平成19年度	同上	
医療情報・経営管理学専攻(M)	2	4	—	8	修士 (医療情報・経営管理 学)	1.12	1.25	—	平成26年度	同上	
医療福祉学専攻(D)	3	10	—	30	博士 (保健学)	1.20	1.20	—	平成19年度	同上	平成30年度より 定員変更(2)
大学院 全体	2 3	40 10	—	110	—	1.14	1.06	—	—	—	

大学の名称		新潟食料農業大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科の み)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
食料産業学部	4	180	-	720	-	0.74	0.86	-	平成30年度	-	
食料産業学科	4	180	-	720	学士 (食料産業学)	0.74	0.86	-	平成30年度	新潟県新潟市北区 島見町940	
大学全体	4	180	-	720	-	0.74	0.86	-	平成30年度	新潟県胎内市 平根台2416	
大学の名称		事業創造大学院大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科の み)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
事業創造研究科	2	80	-	160	-	0.95	0.95	-	平成18年度	-	
事業創造専攻 (P)	2	80	-	160	経営管理修士 (専門職)	0.95	0.95	-	平成18年度	新潟県新潟市 中央区米山3-1-46	
大学全体	2	80	-	160	-	0.95	0.95	-	平成18年度	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
28 名	15 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
20	2	8	2	32	1	17	2	10	2	31	1
(10)	(1)	(6)	(2)	(19)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
17	2	10	2	31	1	18	2	10	2	32	1
[Δ3]	[0]	[+2]	[0]	[Δ1]	[0]	[Δ2]	[0]	[+2]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	10 名	10 名
60 歳	0 名	0 名

※教授、准教授、講師

※助教、助手

及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{31}{32} = \boxed{96.87} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{10}{31} = \boxed{32.26} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{1}{1} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<p>認 可 時 (平成29年)</p>	<p>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>履行中</p> <p>【開学前】 ・認可前と同様に、主要の教職員が構成メンバーとなる定例会議を毎月開催し、開学準備を実施した。 ・全教職員が一堂に会し、研修会を実施し、設置の趣旨・目的等を共有し、開学以降の授業計画の立案に活かせるような体制とした。 (平成29年9月24日、平成29年12月2日開催) 【開学後】 ・教職員オリエンテーションを実施し、実際のカリキュラムにおいて設置の趣旨・目的等がどのように活かされるべきか等を説明し、その周知徹底をはかった。(平成30年4月2日～5日) ・前期授業開始前に、学生オリエンテーションを実施し、プレイズメントテストも含めて学生個々の状況を教職員が情報共有し、4年制大学にふさわしい教育研究成果を出せるような土台作りを実施した。(平成30年4月5日～6日)(30) ・新任教職員オリエンテーション、教授会、総務会、FD・SD研修、各種委員会活動を通じて設置趣旨に即した運営を通じて設置計画を確実に履行することにより4年制大学にふさわしい教育研究活動の推進に努めている。(元) ・新任教職員オリエンテーション、教授会、総務会、FD・SD研修、および人権委員会、遺伝子組換え安全管理委員会の2委員会を加えた委員会活動を通じて設置趣旨に即した運営を通じて設置計画を確実に履行することを推進している。加えて令和元年度は将来計画機構や新潟食料健康研究機構を新設することで完成年度までおよび完成年度以降更に4年制大学にふさわしい教育研究活動の推進に努めている。(2)</p> <p>完成年度までの設置計画の履行に対する留意事項であることから、左記のように「履行途中」。</p>

<p>認可時</p> <p>(平成29年)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>本法人の就業規則では、定年65歳とされているが、大学新設等による教員就任に関しては実績と経験を考慮し定年延長の特例を設けている。あわせて、完成年度以降は教育・研究の継続および教育・研究内容の質の向上を維持するために、新規採用により適正な年齢構成、職位構成で教員組織が保持できるよう努める。教員の配置計画においては、完成年度において比較的高齢の教員が偏ることとなるものの、在籍する若手教員の多くは、博士号を取得済みであり、独自に教育・研究実績を積み上げる能力を有していることから、豊富な実績と経験をもつ教員と共同研究等を通して更に実績を積み上げ、能力を高めることができると考える。完成年度以降は、内部昇格をあわせて公募により広く募集し、若手教員の採用を行っていく予定である。</p> <p>(30)</p> <p>上記を受けて、引き続き完成年度以降若手教員採用に向けて採用計画を立案中。</p> <p>(元)</p> <p>上記を受けて、引き続き完成年度以降若手教員採用に向けて採用計画を立案中。</p> <p>(2)</p>	<p>履行中</p> <p>完成年度までの設置計画の履行に対する留意事項であることから、左記のように「履行途中」。</p>
---------------------------	--	-------------	---	---

<p>設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年)</p>	<p>入学定員未充足の改善 に努めること</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>平成30年度入試では、入学者数が99名と大幅に入学定員を割り込んだため、要因分析を行い入試制度改革やオープンキャンパスの改善、各種ガイダンスの参加強化など学生募集対策を実行した。その結果、令和元年度入試では入学者数が149名に増加したものの入学定員充足には至らなかった。 (元)</p>	<p>履行中</p>	<p>令和元年度入試分析結果に基づき下記の学生募集対策を実行していく。 1) 指定校推薦入試の拡充、特待生選抜対象となる入試区分の拡充、県外試験場の拡充等、入試制度改革の実行。 2) プログラム内容の見直しなどオープンキャンパス改革の実行。 3) 本学サイトリニューアルなどWEBプロモーションの強化。 4) 教員(学長・副学長含む)による高校訪問の実施。 5) 校内ガイダンスや出張講義など対面型広報の参加強化。 6) ビジネス系分野および食物系分野希望者など新規志願者層の獲得に向けたアプローチ強化。 7) 本学の特色化および競合校との差別化の推進。 8) 学生による地域貢献活動、社会連携活動、公開講座等の推進を通じて、大学認知の向上を図る。</p>
---------------------------------------	------------------------------	----------------------	--	------------	--

設置計画履行状況 調査時 (令和2年)	入学定員未充足の改善 に努めること	指摘事項 (改善)	開学から2年連続で入学定員 を割り込んでいるため、各 種データをもとに評価・分 析を行い入試制度改革や オープンキャンパスの改 善、教員による高校訪問の 実施、大学認知の向上など 入学定員充足に向けた対策 を実行した。その結果、開 学から確実に志願者は増加 しており、学生募集対策に 一定の成果は出ているもの の令和2年度入試についても 入学者数が156名と入学定員 を充足することができな かった。(2)	履行済	令和2年度入試分析結果に基 づき下記の学生募集対策を 実行していく。 1) 文科省入学者選抜改革 の趣旨を踏まえた入試日 程・試験科目等の見直しを 図るとともに新たな入試区 分の設置、出願条件の見直 し等、入試制度改革を実 行。 2) オープンキャンパスプ ログラムの見直しやユー ザーニーズに即した情報発 信を強化。 3) 本学の特色化戦略、競 合校対策の強化。 4) 高校進路に対して、学 長、副学長、教員ならびに 在学生による高校訪問を実 施。 5) 各種進路ガイダンスの 参加強化および体験学習型 イベントの実施など対面型 広報を強化。 6) WEBプロモーション (SNS含む)の強化およ びプレスリリースの促進。 7) 指定強化部の情報発信 およびスカウティング活動 の推進。 8) 健康、栄養、商学、経 営分野希望者をターゲット とした募集活動の強化。 9) 新型コロナウイルス感 染症拡大による非接触型広 報の推進。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜食料産業学部 食料産業学科＞

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 経費及び資金計画、設置経費及び経常経費の財源の調達方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設年度の前年度設置経費 3,247,380千円 ・補助金収入 721,946千円 <p>② 設置経費及び経常経費並びにその支払い計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設年度の設置経費 4,280,420千円 	<p>① 経費及び資金計画、設置経費及び経常経費の財源の調達方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設年度の前年度設置経費 3,248,779千円 ・補助金収入 687,980千円 <p>施設・設備等に係る経費が入札、見積取得から契約締結に至る過程で変更（減額）となり、新潟県、新潟市においても補助金を変更（減額）決定された。補助金は減額されたものの、施設・設備等の質・量ともに当初計画の水準を低下させることなく維持している。 (平成30年8月1日付にて設置計画変更協議文書提出済)</p> <p>② 設置経費及び経常経費並びにその支払い計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設年度の設置経費 4,489,904千円 <p>初年度経常経費の当初計画（認可時）615,000千円を824,484千円に変更。 初年度入学定員充足率55%となったため学生募集活動費等の増額を行ったこと及び認可申請時では予見できなかった費用の発生等により、平成30年度期間中に補正予算を組み対処した。その結果、平成31年度（令和元年度）入学定員充足には至らなかったものの、入学定員充足率83%と大幅に改善する結果となった。 (令和元年8月27日付にて設置計画変更協議文書提出済)</p>

及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD・SD委員会を設置 ※新潟食料農業大学FD・SD委員会規程を別添添付</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>令和元年度開催日： 4月 9日（火）…（教員出席率100% 4/4）</p> <p>令和元年度開催日： 8月 7日（水）…（教員出席率 50% 2/4）</p> <p>令和元年度開催日： 9月 4日（水）…（教員出席率 75% 3/4）</p> <p>令和元年度開催日： 11月 6日（水）…（教員出席率 75% 3/4）</p> <p>令和元年度開催日： 12月 4日（水）…（教員出席率 75% 3/4）</p> <p>令和元年度開催日： 1月 8日（水）…（教員出席率100% 4/4）</p> <p>令和元年度開催日： 2月 5日（水）…（教員出席率100% 4/4）</p> <p>令和2年度開催日： 4月30日（木）…（教員出席率100% 3/3）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>令和元年度開催日： 4月 9日（火）… 今後のFD・SD研修テーマについて</p> <p>令和元年度開催日： 8月 7日（水）… 臨床心理士によるFD・SD研修について</p> <p>令和元年度開催日： 9月 4日（水）… 今後のFD・SD研修について</p> <p>令和元年度開催日： 11月 6日（水）… 新任教員へのFD・SD研修テーマ及び次年度研修計画について</p> <p>令和元年度開催日： 12月 4日（水）… 著作権・個人情報保護研修について</p> <p>令和元年度開催日： 1月 8日（水）… 新任教職員へのFD・SD計画について</p> <p>令和元年度開催日： 2月 5日（水）… 無し（確認事項のみ）</p> <p>令和2年度開催日： 4月30日（木）… 著作権に関するFD・SD研修の実施時期の検討</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD・SD研修 ・授業方法について、各コース会議実施 ・教員相互の授業見学 ・新任教員のための就任前オリエンテーション（令和元年12月実施）

b 実施方法

学内教職員による研修

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・平成31年4月3日（水） 新任教員対象FD・SD研修 … 専任教員全員（25名）参加
「建学の精神について」 講師；学長
「ハラスメントおよびメンタルヘルスについて」 講師；副学長
「学習に問題を抱える学生への対応方法について」 講師；FD委員
- ・令和元年7月3日（水） 事業創造大学院大学主催特別講義
「失敗学系プロジェクトマネジメント論に基づく、採択されやすい科研費調書の構築法について」
講師：国立大学法人 静岡大学 鈴木康之氏
- ・令和元年9月27日（金） コンソーシアムにいがた主催FD研修 … 専任教員2名、職員1名参加
「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の概要について」
講師；総務省関東管区行政評価局 安治川 博氏
「情報の格付及び取扱制限の必要性について」
講師：新潟大学情報基盤センター 准教授 三河 賢治氏
- ・令和元年10月2日（水） 外部講師研修
「大学入試改革と高校の変化について」
講師；株式会社進研アド 東京支社 企画営業 高橋陸生氏
- ・令和元年10月30日（水） FD・SD研修 … 専任教員19名、職員6名参加
「日本の農業食料産業の持続的発展への期待について」
講師；国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 理事 松田敦郎氏
- ・令和2年4月17日（金） 遠隔授業開始に向けた講習会 … 専任教員30名参加
「Teamsを利用した遠隔授業の実施について」
講師；遠隔授業実施WG

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

上記FD・SD研修等において、学習に問題を抱える学生や授業の進め方について教員同士が討論や議論を行うことで理解を深め情報が共有化されることにより、今後の学生指導や授業運営など教育の質の向上につながったと考える。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎学期末に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては教授会、学生に対しては学内情報ポータルサイトを通じて公表予定。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。
併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現在、食料・農業分野は国内外問わず大きな変革期にあり多様な解決すべき喫緊の課題が山積みとなっている。その課題を解決し且つ、食料・農業分野の発展を実現するためには自然科学と社会科学が分野を超えて連携することが不可欠であり、自然科学と社会科学のシナジー効果によって農林水産業を成長産業とすることができると考え、「食」「農」を一体的に教育研究する高等教育機関として、新潟食料農業大学を設置した。

上記設置趣旨・目的を達するために全学的な取り組みを開始した。全学的な重要事項を審議する総務会、学部の教育や研究に関する意思決定機関としての教授会を開催し、そして各種委員会を4月に開催した。また、FD研修を開催し、学生指導や授業運営など教育の質的向上を図る取り組みも開始した。

以上の取り組みをはじめ、各種取り組みを加速・発展させていくことで食料・農業界をリードする人材育成および研究開発を担う高等教育機関を目指し、その存在価値を高めていく。

上記平成30年5月1日時点の報告を受けて、平成30年度は全学的な重要事項を審議する総務会を12回/年、教授会を12回/月開催し、委員会においては平成30年度に10委員会の活動および、平成31年4月に2委員会を新たに発足、加えてFD・SD研修は9回/年開催し学生指導や授業運営など教育の質的向上を図る取り組みを推進し、設置の趣旨・目的の達成に向けた活動に努めている。

上記令和元年5月1日時点の報告を受けて、令和元年度は全学的な重要事項を審議する総務会を12回/年、教授会を12回/月開催し、委員会においては令和元年度には3委員会を新たに加え、そのうちの将来計画機構運営委員会は完成年度中および以降の大学の将来像を構想し企画推進する組織として運営を開始した。また、新潟食料研究機構を立ち上げ産学協同の研究を更に推進すべく組織した。更に就職センターを開設し本格的な就職活動のバックアップ体制を整備した。

設置の趣旨・目的の達成に向けた活動に加えて、完成年度以降も見据えた活動を推進している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・完成年度の令和4年以降に公表を検討中。

なお、自己点検・評価報告書のベースとなる大学活動を集約した年報を刊行した。

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業や取引先等の関係者に配布予定
- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・完成年度（令和4年度）以降に認証評価を受けることを検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。